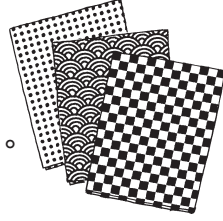


2

【ちらし】

手ぬぐい

手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。



よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。



季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。



しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手の ア このみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけでなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

イ あついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことになりました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の【ちらし】に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。


一 山田さんは、文章の構成をくふうして【ちらし】を書いています。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。

2 伝えたいことの内容を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。

3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。

4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

二 山田さんは、の中で、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。

2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。

3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。

4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

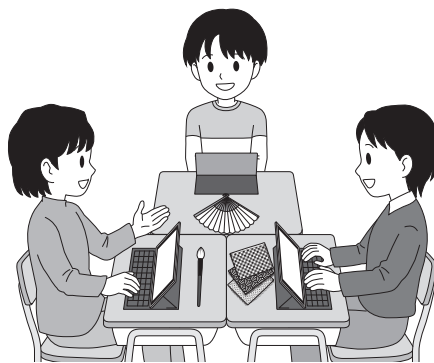
【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・よごれがつくのを防ぐことができてよかった。
 - ・落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・温かい飲み物が冷めにくかった。



三 山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【ちらし】の——部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを

漢字に書き直すことにしました。次の——部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。

相手の ア このみに合わせて、もようを選び、おくる
ことができます。

イ あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく
感じます。